

豊地区の誇り

新緑の季節、住民総出で楽しむ「八幡山もえぎ祭り」



名物ヨモギ餅の餅つき大会では、130臼、もち米6俵(360kg)がつかれ、2個入りのよもぎ餅5,400パックが作られる。八幡山などで摘んだ、摘みたてのよもぎ若葉を使った餅は美味しいと評判で、テントの前に長蛇の列ができる。

平成元年に始まった「八幡山もえぎ祭り」は、豊地区の23の各種団体・グループが連携し、準備から後始末まで300名以上の人々が役割を分担し合って実施している。祭りの開催を通じ、住民ネットワークや結束が培われている。



豊地区は旧市街地にあり、八幡山や足羽山、兎越山に囲まれ、自然に恵まれている。地域の特性を活かし、新緑が美しい四月下旬に「八幡山もえぎ祭り」をカルチャーパークで開催している。名物よもぎ餅の餅つき大会をはじめ、弥生汁や甘酒、焼き鳥、ポン菓子など多数の模擬店が出店、アトラクションとして、消防音楽隊のドリル演奏や、子ども太鼓、ヨサコイなどが披露される。また、子どもたちが遊ぶ子ども広場や工作コーナーの設置や、住民自らが作詞・作曲、振り付けをした「みのりよいとこ」の民踊大会など、住民総出で楽しんでいる。



豊公民館 館長 平田 孝次さん

館長の平田さんは、「旧北陸道沿いに栄え、奥の細道の芭蕉句碑があるなど、古い歴史を誇ります。八幡山のふもとは、江戸時代からの古い茅葺き屋根の農家を移築した『おさこえ民家園』があり、昔の暮らしぶりや郷土の習俗が学べます」と話す。

豊公民館

住 所／福井市みのり3-106-8
電 話／0776-34-0344
交通機関／京福バス「豊公民館前」
バス停下車